

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	商業・ビジネス分野	科目：	簿記	単位数：	2	指導学年：	2
使用教科書	新簿記（実教出版）		副教材	簿記の問題集（T A C出版）			

年間指導目標：

- ・ 会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、実務的な技術を身に付けるようにする。
- ・ 企業会計に関する法規と会計基準を学び、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- ・ 学んだ知識を活かし、資格（日商簿記3級）取得を目指し、その知識を将来に活用できる能力を身に付ける。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	取引に関する考え方を学び、実践的な学習活動を行うなかで企業経営に関する知識と技能を身に付けている。	経営に関わる知識や技術を科学的な根拠に基づいて創造して課題に対応する力を身に付けている。	適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準					配当 時数
				a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査 (授 業 内)	第1章 商品売買 第2章 現金預金 第3章 手形と電子記録債権 第4章 有形固定資産 第5章 その他の取引Ⅰ 第6章 その他の取引Ⅱ	(知) ・ 簿記の基礎的な知識を身に付けている。 ・ 資産・負債・純資産・収益・費用の種類、貸借対照表、損益計算書の構造や役割を理解している。 ・ 現金・当座預金の取引のしくみや流れについて、理解している。	○		○			12
		(思) ・ 手形の使用方法や手続きの流れを考えながら、取り組んでいる。 ・ 電子記録債権・債務についての取引において、取引の流れと処理の仕方を創造しながら取り組んでいる。		○					
		(態) ・ 簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられる。 ・ 契約や取引についての処理や企業に関わる税金に関する知識を理解しようとして取り組んでいる。					○		
1 学期	期末 考査 (授 業 内)	第7章 決算に関する取引等 第8章 伝票の起票	(知) ・ 簿記上の取引の意味と仕訳の手順を理解している。 ・ 試算表の意味と作成法を理解している。 ・ 決算に関する整理事項やその記入方法について、理解している。 ・ 取引に必要な伝票について、書き方や使用方法を理解している。	○					12
		(思) ・ 取引の分解と勘定記入、転記について適切に判断し、正確におこなえている。 ・ 仕訳帳・総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確におこなえている。 ・ 決算整理を行う上で、企業のお金の流れをしっかりとイメージして取り組んでいる。			○				
		(態) ・ 仕訳と転記に自ら進んで取り組んでいる。 ・ 記録を正確に行うことの大事さに関心を示している。 ・ 試算表がなぜ必要か考え、その役割について関心を持ち、把握するような態度を示している。 ・ 決算取引について、積極的に自ら取り組んでおこなっている。 ・ 伝票に起票について、書き方などの練習に取り組んでいる。					○		

2 学 期	中 間 考 査 （ 授 業 内 ）	第9章 補助簿の選択	(知)	・商品売買、掛け、手形に関する基本的な内容とその記帳法を理解して基礎的な技術を身に付けている。 ・3分法による記帳法や仕入帳・売上帳、商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解している。 ・その他の債権・債務、固定資産、個人企業の資本、販売費及び一般管理費の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けている。	○					16
		第10章 勘定記入		(思)	・現金・預金、商品売買、掛け、手形の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ・その他の債権・債務、固定資産、個人企業の資本、販売費及び一般管理費の取引等の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。			○		
				(態)	・商品売買、掛け、手形の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしている。 ・その他の債権・債務、固定資産、個人企業の資本、販売費及び一般管理費の取引等に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしている。				○	
2 学 期	期 末 考 査 （ 授 業 内 ）	第11章 商品有高帳	(知)	・補助簿の作成方法とそれぞれの帳簿の意味を理解できている。 ・補助簿の必要性和重要性を理解できている。	○					16
		第12章 小口現金出納帳		(思)	・どのような場面で補助簿を作成・使用するかを考えて取り組んでいる。 ・在庫管理や手形・小口現金などの使用方法や処理の仕方を考えて取り組んでいる。			○		
		第13章 手形記入帳		(態)	・実際の取引を想定して、作成に取り組んでいる。 ・現金だけでなく、取引に関する資産の動きを想定して取り組んでいる。 ・在庫管理の重要性を理解しながら取り組んでいる。				○	
3 学 期	学 年 末 考 査 （ 授 業 内 ）	第14章 売掛金元帳・買掛金元帳	(知)	・決算手続き、8桁精算表の意味を理解し、決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・貸借対照表・損益計算書・財務諸表の作成方法を身に付けている。	○					22
		第15章 決算 精算表の作成 財務諸表の作成 決算整理後残高試算表の作成		(思)	・なぜ決算整理を行うのか、なぜこのように整理仕訳を行うのかなどについて思考し、財務諸表を活用して企業の状況について判断し、決算結果を財務諸表に明瞭に表現できる能力を身に付けている。			○		
				(態)	・決算整理が企業の経営成績にどのような影響を与えるのかに関心をもち、自ら考える態度を示している。 ・貸借対照表、損益計算書からビジネスの諸活動を把握しようとしている。				○	
合計										78